

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

| | |
|------------------------------|--|
| 事業所名 | グループホーム こうほく |
| 日付 | 平成19年2月10日 |
| 評価機関名 | 有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：介護経験歴6年 大学教員 |
| 自主評価結果を見る | |
| 評価項目の内容を見る | |
| 事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!) | |

外部評価の結果

| |
|---|
| <p>総評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>職員の明るい声かけで、ホームでは笑い世間話が絶えません。入居者の感情が上手に引き出され、声かけの大切さを改めて学ばせられます。このような声かけは、ホームの仕事と入居者を心から愛する職員だからこそ、できるのだと思います。</p> <p>身体機能の維持に関する取り組みが非常にうまく行われています。自分でできる日常生活に関する行動は、極力自分でしてもらっています。料理では包丁を使う人もいます。日課の体操をみんなでしますが、歌いながら楽しみながら行われています。そのため入居者が嫌々、渋々参加するということがありません。車椅子の人も散歩の途中で無理しない程度に少しでも歩く機会を設けるようにしています。</p> <p>職員の年齢層は多様ですが、非常に人間関係が良いです。そのことがホーム内の空気を明るくしている大きな要因の一つだと思います。</p> <p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>現在の介護について、特に改善の余地は見当たりません。しかし、今後、入居者の重症化が進むとターミナルケアの問題に直面する可能性があります。ご家族や医療機関との連携が不可欠で、職員の負担も大きいです。したがって、すでにターミナルケアを実践しているホームの取り組みや経験について事前に学んでおくとうよいと思います。</p> |
|---|

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か | | |
| 記述回答 | (記述式で回答) 入居者ひとりひとりが、我が家の延長のようこのびのびとした生活を送れることを目指しています。掲げる目標は、ごく普通の内容ですが、それが職員間でしっかりと共有され、しかも実行されています。 | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | (記述式で回答) 職員がバタバタせず、穏やかな声かけを絶やさないことで、入居者ひとりひとりが安心して自分の居場所を見つけることができます。 | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人でできることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にされた整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物の支援 | | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | (記述式で回答) 日常生活の動作は、極力自分でやらせようとしています。リハビリのためのリハビリではなく、これまでの生活の自然な延長として、料理、洗濯物たたみ、散歩、トイレに行くなどの生活リハビリが行われています。職員の明るい声かけが、入居者の意欲を引き出し、入居者は無理強いされることはありません。ときには、入居者が職員に料理の味付けを教えてくださいとお願いすることがあります。部屋には廊下に面した小窓がありますが、部屋の内側にあるカーテンで遮られ、入居者のプライバシーが守られています。 | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 33 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 34 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 35 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か | | |
| 記述回答 | 職員の年齢層は多様ですが、非常に仲がよく、意思疎通がよいです。このことは、ホームの雰囲気や明るく、介護に関する改善点を率直に提起しやすくなっています。また、職員の勤務意欲にもプラスです。職員は、介護の質を改善するため謙虚に学ぶ姿勢を忘れません。必要に応じて、ホーム内での学習会を行っています。最近では、高齢者虐待についての学習会を行ったそうです。 | | |